

# 2013 年度 事業報告書

(2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日)

## 1. 資源のリユース・リサイクルを推進する環境事業

地域に於ける環境保全の推進を図ることを目的として、大ぜいの“もったいない”の思いを集め、周知されたWEショップを拠点にリユース・リサイクル環境事業を展開し、資源の有効活用を図るとともに、地球環境の保全を目指します。

### 「基本方針」

- (1) WEショップを地域内循環の拠点としてリユース・リサイクル環境事業をすすめ、資源の有効活用を図ります。
- (2) 地球環境の保全をめざし、行政・企業・商店会や地域の運動グループ・団体と連携し活動をすすめます。また、物流機能も鑑み、CO2削減をめざします。

### 『事業内容』

1) リユース・リサイクルショップ「WEショップほどがや星川店」「WEショップほどがや天王町店」を運営します。

- ①星川店、天王町店におけるスタッフ3人体制が整い、ショップ運営は円滑に進められました。
- ②スタッフ、ボランティアの業務については、スタッフチーフの日々の努力により、役割を明確にしてその育成に努めてきました（参考資料は地域NPO運営マニュアル、ボランティアガイド）。ボランティアの増員のためA看板やチラシ、この街クラブなど継続した広報をしました。初めて男性のボランティアの参加もありました。また、就労支援の受け入れを積極的に行い、かかわりの継続に努めました。
- ③寄付品のショップ間循環などの努力はしましたが、実績状況は、両ショップ共、目標額（700万円）を達成できませんでした。

### ◆星川店活動実績

営業日数：	231日	(月平均 19日)	前年比	99%
顧客数：	8284人	(月平均 690人・1日平均 36人)	前年比	98%
寄付件数：	1294件	(月平均 108件)	前年比	96%
ショップボランティア人数：延べ人数	518人	(月平均 43人)	前年比	105%
	実人数	289人 (月平均 24人)	前年比	169%
売上：	6,284,012円		前年比	93%
(月平均：	523,668円	1日平均 27,511円)		

- ①ショップスタッフ、ボランティア、そして就労支援実習生と共に得意分野を生かしながらショップ運営に取り組みました。
- ②ショップリニューアルに伴い、『見やすくなった』『広くなったように感じる』などお客様の声を聞く事が多くなりました。セール中の売り場への品物補充が容易になりました。新たな販売方法として『お楽しみフェア』を企画しましたが、厳しい結果となりました。
- ③3年目の着物フェアに向けて、着物素材の判別・選別、販売価格等について顧客として学習しました。早めに準備したことや高額品が提供され売れたことにより、売り上げ目標を達成出来ました。
- ④ちらしによる広報以外に、過去の着物フェア来場者へダイレクトメールを出し、来店者の増加を図りました。引き続き着物の寄付品増加につながるような広報活動や対策を検討していきます。
- ⑤リメイク作品はチームの話し合いのもと、新たな作品が生まれ、売り上げに貢献しました。
- ⑥就労支援の研修と職業体験の受け入れをしました。

※横浜中部就労支援センター1名、ワーコレ協会と保土ヶ谷区就労支援事業2名

ワーコレ協会と生活困窮者支援事業2名、地域福祉の担い手を増やす若者サポート事業3名  
星槎学園1名、横浜国立大学生1名、

- ⑦売り上げ拡大を目標にイベント開催しました。

4月	スプリングセール	(4月15日、16日)	227,645円
5月	ミニ花器フェア	(5月13日、14日)	111,090円
8月	お楽しみフェア	(8月7日～9日)	174,910円
9月	セレクト市	(9月5日、6日)	131,870円
10月	着物フェア	(10月21日、22日)	392,730円
12月	クリスマス半額セール	(12月9日～13日)	339,175円
1月	初売り	(1月6日)	92,890円
2月	アクセサリフェア	(2月3日～5日)	178,760円
3月	3.11を忘れない	(3月11日)	39,180円

#### ◆天王町店活動実績

営業日数：	233日	(月平均 19日)	前年比	98%
顧客数：	9652人	(月平均 804人・1日平均 42人)	前年比	87%
寄付件数：	2127件	(月平均 177件)	前年比	92%
ショップボランティア人数：	延べ人数 402人	(月平均 34人)	前年比	109%
	実人数 279人	(月平均 23人)	前年比	241%
売上：	6,526,973円		前年比	94%
	(月平均：543,914円	1日平均 28,039円)		

- ①念願のスタッフ3人体制がやっと実現できました。ボランティアは相変わらず少なく、スタッフひとりになることがあり課題となっています。

②バックヤードは、整理を行ったことで広さに恵まれ、書類の設置や少人数の会議、スタッフ、ボランティアの休憩、さきおり講習会などができる場となりました。

③消防署の立ち入り検査にて指摘を受け、床の防災加工、防災カーテンに変更しました。

④商店会主催のイベントに積極的に参加・協力することでWE 21 ジャパン・ほどがやをアピールしました。

※8月・子供フェスタ、6月9月シルクロード商店街フリーマーケット、3月9日東北復興支援バザー等

⑤ショップの特徴として、フェアトレード品を販売し、年2回(6月12月)、フェアトレードフェアを開催し、支援を身近に話すきっかけとなりました。

⑥就労支援者の研修と、職業体験の受け入れをしました

※ユースプラザ1名、 横浜中部就労支援センター1名 ワーコレ協会（保土ヶ谷区就労支援事業2名 横浜市就労支援事業1名 地域福祉の担い手を増やす若者サポート事業2名）

星槎学園1名、国大生インターン1名 岩崎中学校2名

⑦売り上げ拡大を目標にイベントを開催しました。

4月	春の感謝セール	(4月25日～27日)	258,765円
6月	フェアトレードフェア	(6月17日～22日)	196,545円
7月	10周年創業祭	(7月4日～6日)	270,905円
9月	アクセサリーフェア	(9月9日～14日)	174,230円
11月	秋・冬感謝セール	(11月18日～22日)	322,635円
12月	フェアトレードフェア	(12月2日～7日)	184,140円
1月	初売り	(1月6日)	117,570円
2月	早春セール	(2月20日～22日)	209,985円
3月	3.11を忘れない	(3月9日・11日)	59,470円

2)「貴重なる寄付品の新たな価値を」「支援先とのつながりの発信を」など、また創る楽しみ工房など参加の場としたコミュニティカフェ、多機能を持った新たな拠点づくりに向けてチャートを定め具体的にすすめます。

事業性を考慮すると現状では厳しい状況であり、拠点づくりをすすめることができませんでした。今後に向けての継続課題になりました。

3) 資源の有効活用を図るために、環境に配慮した活動をすすめます。

①リユース・リサイクル部会を定例化(隔月)し、メンバーの共育と各々チームの情報共有を図りました(布ぞうりチーム3名 リメイクチーム8名 さきおりチーム2名)

②地域に向けて資源の有効活用と環境に配慮したWE講座を2回開催し(7/24夏休み企画、2/26支援チームと連携)おおぜいの参加を呼びかけました。

③体験講座を毎月開催しました。(資料参照)

④中区寿町で活動する団体へ、衣類・日用雑貨等を寄付しました。

**4) 資源のさらなる有効活用をめざし、リメイク企画チームを設置し、リメイクの新たな展開へとすすめます。**

リメイク企画チームは5名でスタートしましたが開催は4回に留まりました。ファイバーの現状を把握できたことで（ジーンズ、ウール着物、ネクタイ、スカート）、今後は、リメイクチームへの働きかけをするなど、さらなる展開に向けて検討を進めます。

**5) 寄付品の仕分け、リメイク品など在庫管理を徹底し、ショップ相互の流通を図ります。**

- ①寄付品の仕分けは、ショップ間の流通、循環を実施したことにより順調にはかどりました。
- ②リメイク品の在庫管理は担当を定めたことでより明確になりました。そのことで作品が販売へとつながり、さらにショップからのアドバイスが作品づくりに反映されました。

**6) WE 2 1 の事業に参加し、情報の収集と交流を図ります。**

WE 油田（使用済み天ぷら油）、携帯電話の回収をすすめました。

※油田回収量： 星川店 138kg 天王町店 238kg

※携帯電話回収量： 星川店 11 天王町店 9

**7) WE 2 1 リメイク連絡会に参加し、他地域NPOとの情報を共有します。**

WE 2 1 リメイク連絡会に参加し、他地域NPOと情報の共有をし、「WEフェスタ春(3/11、12)」に参加しました。

※WEフェスタ出品数94点 売り上げ金額49,680円（販売数67点）

【日時】（ショップ運営）星川店 4月1日～3月31日 月曜日～金曜日（土、日、祝日休み）  
天王町店 4月1日～3月31日 月曜日～土曜日（水、日、祝日休み）  
（他 活動） 通年

【場所】WE ショップ星川店・天王町店、その他神奈川県内・保土ヶ谷区内

【従事者人数】スタッフ6名（星川店3名・天王町店3名）、リユース・リサイクル部会6名  
リメイク企画チーム5名、その他ボランティア

【受益対象者】一般市民

【支出額】12,297,237円

## II. 市民の力を高める民際支援事業

アジア等に暮らす市民、そして支援先の人々と連携し、NPOやNGO等により入手した様々な情報を発信し、平和への関心を高め広めていきます。

### 「基本方針」

- (1) 支援先の人々と交流・報告を通して課題を共有し、民際支援事業の共育の充実を図ります。
- (2) アジア等の人々の生活向上と自立のための活動を支援します。

## 『事業内容』

### 1) NGOによる現地プロジェクトへの支援をしていきます。

- ① 支援先については、活動報告・申請書の情報を得て、報告会を開催しました。
- ② 支援先決定に向けては、継続また新規支援を含め検討し、運営委員会へ提案し決定しました。例年のことですが、情報が期末に集中するため短期間での決定になり、今後の対応に検討が必要です。

支援団体名	プロジェクト名	助成金	寄附金	募金
IYAMAN. INC	環境教育プロジェクト	150,000		
	レインボーキャンペーン			6,400
WE 2 1 ジャパン	先住民の命と暮らしを守る、鉱山開発地域の環境活動	150,000		
	15周年白書づくり・スピーキングツアー			20,000
DRCSC	農村地域女性のエンパワメントを目的とする DRCSC の既存プロジェクトの追加活動	100,000		
認定 NPO 法人 シェア	タイラオス国境地域における HIV 予防啓発及びケアプロジェクト	100,000		
BENETEN	専門家によるネットワークグループ	50,000		
認定 NPO 法人 ACE	児童労働の撤廃・予防活動全般		72,620	8,666
日比ネットワーク	台風被害緊急支援		30,000	
認定 NPO 法人 CYR	みんなで布チョコッ			25,500
	合計	550,000	102,620	60,566

総合計 713,186 円

### 2) 世界貧困キャンペーンに参加します。

10月17日、国連の定めた「世界貧困撲滅デー」に共感し、児童労働撲滅のための活動を推進する「認定NPO法人 ACE」へ10月1日～17日までの店頭募金、17日当日の売上全額を寄付しました。また、店内でのクイズを通して児童労働に関する理解を深めました。

### 3) 支援に関する情報発信として、支援先のミニチラシを作成し、より多くの市民に発信します。

WEほどがや版ミニチラシを概ね作成しました。2014年度に配布します。(別紙)

### 4) 支援先 NGO の活動情報を入手し、相互の交流を深めます。

- ① スタディツアー、視察ツアーは実施できませんでした。支援先 IYAMAN メンバー、ジェドさん(10/4)、WE 2 1 の 15 周年スピーキングツアー、アイーダさん、マルタさんと交流しました(10/7)。
- ② 平和ツアーは実施できませんでした。

5) フェアトレードに関する情報を収集します。共育を通して理解者をさらに広めます。

【内容】

- ①天王町店においてフェアトレードフェアを2回開催しました(6/17~22、12/2~7)
- ②フェアトレード品の販売を行いました。今年度はフェアトレード品を広める一つとして旭区白根にある[珈琲問屋&百屋]の自家焙煎によるフェアトレードコーヒーを取り組みました。

【フェアトレード品】

※常設品：ジンジャーティ(フィリピン) カピタココーヒー(フィリピン)  
ケーシー織りのバッグ・ペットボトル入れ・エプロン・ランチョンマットなど(インド)  
アシーラ石けん(パレスチナ)

※イベント時：しあわせのチョコレート(ACE) 百屋さんのコーヒー(東ティモール・コロンビア)

リタトレーディング(株)のミトラティ(スリランカ) ミトラチョコ(ペルー)

売上げ合計 319,408円

6) 東日本大震災の復興支援活動を継続します。

今年度も引き続き、毎月11日の売上げの20%、「3.11を忘れない」をアピールし、3月11日の売上げ全額を「認定NPO法人F o E JAPAN」が行っている活動、「福島ぽかぽかプロジェクト」に寄付をしました。また、天王町商店会主催の東北復興支援バザーに参加し、売上の一部を寄付しました。

支援団体名	プロジェクト名	寄附金	寄附金	募金
認定NPO法人 F o E JAPAN	福島ぽかぽか プロジェクト	毎月11日の売上 20%	3月11日の売 上	店頭募金
		27,868円	67,050円	35,163円
天王町商店会	東北支援バザー		3,000円	

合計133,081円

7) その他の支援活動

- ①「福祉クラブ生活協同組合」に福祉車両購入の基金として2000円寄付しました。
- ②「認定NPO法人 F o E JAPAN」の活動に協力し、寄付付き手ぬぐいを販売しました  
※20枚・単価840円を完売しました。

8) WE21が主催する各種委員会・チームまた、開催される講座・研修に積極的に参加していきます。

WE21が主催する各種委員会・チームまたは多岐にわたる講座や研修には積極的に参加しました。

9) WE21の民際支援活動を支援します。

- ①「アジア・友だち・みらい貯金」を協力しました ※8個

②WE 2 1 が取り組む支援活動、各種委員会、チーム、開催される講座や研修に積極的に参加しました。

【日時】 通年

【場所】 保土ケ谷区

【従事者人数】 支援チーム 5 名 スタッフ 6 名（星川店 3 名 天王町店 3 名）

【受益対象者】 一般市民、支援先の住民

【支出額】 848,267 円

### Ⅲ. 地域市民の国際的な問題意識の向上を図る事業（共育事業）

WE ほどがやの活動を広げ、理解を深めるため地域市民へ呼びかけ学びます。  
また、WE 2 1 や各 NGO と連携し、活動や世界情報を共有します。

#### 『基本方針』

1. WE ほどがやの活動の一環である支援事業について学びます。

#### 『事業内容』

1) 連続WE 講座を開催します。

公開講座として連続WE 講座を 3 回開催しました。他団体やグループとの交流を図るには至りませんでした。

・ 2 月 2 6 日（水） カンボジア現状報告と「みんなで布チョッキン」

講師：峯村里香さん（認定NPO法人 幼い難民を考える会（CYR））

保土ケ谷公会堂会議室にて

参加者 1 7 名

・ 3 月 1 日（土） 「チェルノブイリその後の報告と下北半島の核サイクル施設、そして福島から未来に向けて」

講師：郡司真弓さん（特定非営利活動法人 ふくしま支援・人と文化ネットワーク事務局長）

ほどがや市民活動センター アワーズにて 参加者 1 2 名

・ 3 月 1 9 日（水） 「家庭生まれのe c o資源」

講師：染谷ゆみさん（TOKYO油田（株）ユーズ代表）

ほどがや地区センター会議室にて

参加者 1 3 名

【日時】 4 月 1 日～3 月 3 1 日

【場所】 保土ケ谷区

【従事者人数】 運営委員 8 名

【受益対象者】 保土ケ谷区民

【支出額】 66,782 円

## IV、WE 21 ほどがやの事業の広報普及を図る事業(広報事業)

(資料参照)

WEほどがやの活動の理解を深めるため、地域市民へ情報の受発信に努めます。

### 『基本方針』

- (1) WEほどがやの活動を伝え、広めるための広報をしていきます。
- (2) 広報の充実を図り、多世代わたる市民への受発信に努めます。

### 『事業内容』

#### 1) 広報の充実を図ります。

①ほどがやニュースを3回発行し、またイベント時にはチラシを配布、地域への情報発信をしました。

※年3回発行 3000枚、                      チラシ 15000枚、

②三つ折パンフレットは、支援情報のみを変更し発行、配布しました。ただしカラーパンフレット作成は内容の検討にとどめ、横浜市認定取得後2014年度発行としました。

③新規提供者、会員、ボランティアへ年間のお礼や活動報告を兼ねて年賀状を送付しました。

#### 2) WEほどがやのホームページを立ち上げ、ブログの更新をしていきます。

①ブログの更新を行いました。ホームページの立ち上げはできませんでした。

情報(定款、会計、事業報告など)の掲載が義務づけられています。早急に対応します。

②「市民意見広告運動・市民の意見30の会・東京」へ参加し、朝日新聞への意見広告に掲載しました。

【日時】 4月1日～3月31日

【場所】 保土ヶ谷区内

【従事者人数】 広報チーム4名    スタッフ6名 (星川店3名    天王町店3名)

【受益対象者】 保土ヶ谷区民

【支出額】 15,986円

## V. 事業を実践するための組織活動

組織力を高め大ぜいの参加のもと、WEを理解し、ほどがやらしく、元気力をモットーに、さらに組織を強め発信していきます。

### 『基本方針』

- (1) 組織の充実を図り経営基盤を高めます。

(2) 雇用者との情報の共有を密にし、よりよい働き方をめざします。

(3) 行政・企業・他団体・地域グループの企画に参加し、ネットワークを広げ活動を共有します。

## 『事業内容』

### 1) 経営基盤を高め組織の要となる運営委員会の充実を図ります。

①運営委員会を定例開催し、必要に応じて臨時運営委員会を開催しました。

②代表者ミーティングを定例開催したことにより、運営委員会を円滑に進めることができました。

③毎月「運営委員会通信」を作成し、各ショップに掲示し、スタッフ、ボランティア相互に情報の共有をしました。

### 2) 会員拡大をすすめます。

会員の拡大をすすめました。

正会員	個人	目標 67名	実績 63名	賛助会員	個人	目標 12名	実績 7名
	団体	目標 1団体	実績 1団体		団体	目標 6団体	実績 0

※ 期首 57名 新規 6名加入 脱退 0 未納者 6名

### 3) 会員、ボランティアとの情報の共有と交流を深める場として、大ぜいの参加によるサロンを実施します。

会員、ボランティアとの共有、交流の場として、地域住民の参加型で実践している金沢区のコミュニティ・カフェ「特定非営利活動法人 さくら茶屋にししば」への訪問を企画し、見学、学習して交流を図りました（参加者 13名）。

### 4) 認定NPO法人取得に向けてすすめます。

横浜市認定NPO法人取得に向けて準備をすすめ、審査を経て取得しました

※有効期間：平成26年 3月1日～平成31年2月28日

平成25年10月4日申請 12月20日 事務所にて帳票類の審査

平成26年 3月1日に認定取得しました。

### 5) 運営の充実とショップ事業を円滑にすすめるための雇用を促進します。

①事務局を設置し代表者の一員となり運営委員として関わりました。

②ショップスタッフ6名は専任として実務を行い、スタッフチーフは運営への担い手となりました。

また、サブスタッフ・ボランティアへのリーダーシップを持って関わり、サブスタッフはチーフを補佐して、相互でショップ運営を担い事業を円滑にすすめました。

③ショップ運営を円滑にすすめるために、ショップスタッフミーティングを毎月開催しました。また必要に応じて拡大スタッフミーティングを4回開催し（6月10月1月3月）、意見交換、情報共有の場としました。課題があれば運営委員会に提案するようにしました。

### 6) ボランティアとの情報共有の場、ミーティングをショップオープン前に実施します。

①ボランティアミーティングは必要に応じてショップ毎に開催しました。ショップオープン前のミニ

ミーティングも試みました。今年度は、会員との交流サロンを実施し研修を行いました。

※2013年度ボランティア人数 実数 53名

②ボランティアニュースをスタッフチーフが作成し、ショップ毎に掲示しました。

**7) 地域における団体・グループ、企業や行政、商店街が行う企画に参加し、地域市民と共にまちづくりをすすめます。**

- ①地域の就労支援センター、ワーコレ協会、区役所などと連携し、WEショップを働き場として提供し、WEショップにおける多様な拠点の一端を担いました。
- ②岩崎中学校2年生の職業体験を受け入れ、WEショップを職業体験の場として提供しました。
- ③生活クラブ運動グループ「保土ヶ谷・西まちづくり協議会」に参加、運動グループ相互の情報を共有し、「ふくしまつり6/3」「ほどがや区民まつり10/19」に参加しました。ふくしまつりにおいては、福祉車両購入の基金として寄付をしました。
- ④ほどがや生涯学習フォーラム(11/30・12/1)に実行委員として参加して活動のアピールをしました。
- ⑤ほどがや市民活動センター「アワーズ」の協働運営会議に参加して地域の市民グループと交流しました。
- ⑥保土ヶ谷区地域まちづくり事業「ほどがや人・まち・文化振興会」に参加して、イベント会場にて広報誌などで活動をアピールしました。
- ⑦横浜国大フリーマーケットに参加し、若者向けの寄付品の販売とWEショップのアピールを行いました(11/2)。
- ⑧横浜市内在住の65歳以上の方対象の割引制度「濱とも協賛店」に加入し、毎月21日にカード提示のお客様に10%割引をしました。  
※濱ともカード年間利用者数 星川店 15人 天王町店 26人  
(21日が定休日やセール日と重なった月は実施しませんでした)
- ⑨「株式会社 富士通エフサス」のNPO団体に関する研修を受け入れました(10/11)。

【日時】 4月1日～3月31日

【場所】 保土ヶ谷区内

【従事者人数】 運営委員8名 スタッフ6名(星川店3名 天王町店3名)

【受益対象者】 保土ヶ谷区民

【支出額】 0円

以上